

つぎのミライは、
あなたの街から
はじまる。

News Release

NTT東日本グループ

2025 年 9 月 11 日
NTT 東日本株式会社 神奈川事業部

NTT 東日本が「横浜防災フェア 2025」に出展

～来場者が公衆電話を使って災害用伝言ダイヤル(171)を体験～

NTT 東日本株式会社 神奈川事業部（執行役員 神奈川事業部長 相原 朋子、以下「NTT 東日本」）は、2025 年 9 月 6 日（土）・9 月 7 日（日）に横浜赤レンガ倉庫で開催された「横浜防災フェア 2025」（主催：ラジオ日本、横浜市）にて、公衆電話等を使った災害用伝言ダイヤル（171）の体験コーナーを出展しました。災害時の安否確認手段を、家族や親子らで学べる機会として、多くの来場者が体験に参加しました。



1. 背景・目的

NTT グループは過去の災害経験から、災害対策の基本方針（ネットワークの信頼性向上・重要通信の確保・サービスの早期復旧）に基づき、大規模停電対策・水防対策・伝送路の多ルート化・災害対策基地局/災害対策機器/安否確認サービスの拡充等、様々な防災・災害対策の取り組みを実施しています。その一環として、神奈川県内の自治体等が主催する総合防災訓練や防災関連イベント等において、災害用伝言ダイヤル（171）のご案内や体験促進の取り組みを実施しています。地域住民の皆さまに対して、実際の体験を通じて、家族間での安否確認方法、事前の意識合わせの大切さを伝えています。

2. 「横浜防災フェア 2025」の概要 <<https://www.jorf.co.jp/?topics=bousai2025>>

- (1)日時： 2025 年 9 月 6 日（土）・9 月 7 日（日） 10:30～17:00
- (2)場所： 横浜赤レンガ倉庫 イベント広場（神奈川県横浜市中区新港 1-1）
- (3)内容： 横浜市の防災に関する様々な情報に加え、関連官公庁、一般企業、民間団体等の防災への取組などわかりやすく発信し、来場者の皆様と一緒に防災・減災について改めて考える。
- (4)主催： ラジオ日本、横浜市

3. NTT 東日本の出展内容

- ・内容：公衆電話・体験用訓練機を使った災害用伝言ダイヤル(171)の体験
- ・参加人数：約 430 名



4. 参加者の声

- ・「171 は聞いたことがあったが、実際に使ったのは初めて。とても勉強になった」
- ・「子どもに公衆電話の使い方を教えたいと思っていたので、良い機会だった」
- ・「東日本大震災のときに携帯が使えず困った経験がある。171 の使い方を覚えておきたい」
- ・「今度の体験利用日に、実際に使ってみようと思う」
- ・「家族の安否を確認するのに便利」
- ・「早速、家族内でルールを決めておきたいと思う」

5. 本件に関する報道機関からの問い合わせ先

NTT 東日本 神奈川事業部 企画総務部 広報担当

TEL : 045-226-6123 E-mail : kanagawa-kouhou-ml@east.ntt.co.jp

(参考) 災害用伝言ダイヤル(171)について : <https://www.ntt-east.co.jp/saigai/voice171/index.html>